
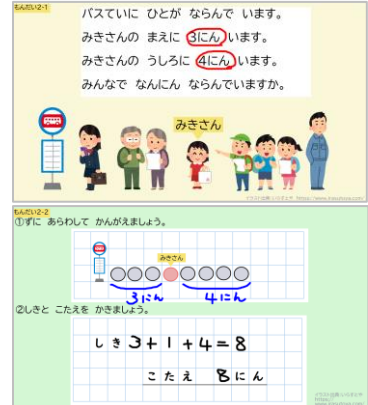



学年	教科等	単元等	活用アプリ
小1	算数	加減を式に表す「みんなでなんにん」	オクリンクプラス LIVEモニタリング
授業内容	問題文を図で表し、立式する		<p>もんだい1-1と1-2</p>  <p>もんだい2-1と2-2の取り組み例</p>  <p>イラスト出典：いらすとや <a href="https://www.irasutoya.com/">https://www.irasutoya.com/</a></p> <p>共有コード</p> <div> <p>共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む</p>  </div> <p>pb01K8HNZBPQXZX367V06PCQCHXH</p>
授業準備	<p>問題文を図で表し、立式する</p> <p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共有コードを使用してカード（4枚）を取得する。</li> <li>準備したカードのうち「もんだい1-1」「もんだい1-2」を子供たちのマイボードに送信する。</li> </ul> <p>授業の流れ：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>マイボードに送られたカード「もんだい1-1」を各自開く。</li> <li>問題文を各自読み、計算に必要な数の部分をペンツールを使って丸く囲む。</li> <li>「もんだい1-2」のカードを開き、図形を移動したり、ペンツールで書きこんだりして問題文の場面を図で表す。</li> <li>図をもとに、ペンツールで式と答えをかく。</li> <li>全体で答え合わせをする。2枚のカードを提出BOXに送信する。</li> <li>先生は、子供たちのマイボードにカード「もんだい2-1」「もんだい2-2」を送る。</li> <li>1～5と同様に取り組む。</li> <li>先生の端末からLIVEモニタリングで「もんだい2-2」のカードを全体共有する。何人かの子供のカードを大きく表示し、カードが取り上げられた子供、または自分と考えが違っても説明してみたい子供が、どのような考えを表しているかについて説明する。</li> <li>「もんだい2-1」「もんだい2-2」のカードを提出BOXに送信する。</li> <li>問題文を図に表すことでどのような良さがあったか、全体で確認する。</li> </ol>		
サポートおすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を読み取り、図で表現し、立式するまでを、かいたり消したりが容易、多色使いができる、図形の移動ができる、というICTの特徴を生かして取り組みます。</li> <li>様々な図の表現や異なる式・考えを共有することで、考えを説明する力を育成します。</li> </ul>		